



# 生涯学習講座

★市内にお住まい又はお勤めの方が対象です。

生涯学習課(南館1階)  
052-2400-2911

## 天文開放

とき 7月12日(金)  
午後7時～8時30分  
ところ にしび創造センター  
4階 天体ドーム  
テーマ 「地球と月」  
講師 理科教諭  
川村吉弘氏

※雨天の場合は中止です。  
くもりの場合は、その時の天候により判断しますので、生涯学習課(南館1階)に午後4時以降にお問い合わせください。  
※申込不要です。小さなお子さんや家族での参加もできます。  
※中学生以下は保護者の送迎が必要です。

## 二次募集講座

★申込は、お電話で生涯学習課(南館1階)へお願いいたします。定員になり次第受付を終了します。  
★詳細は生涯学習ガイド(前期)をご覧ください。

## スペイン語入門

とき 8月3日(土)・10日(土)・17日(土)・24日(土)・31日(土)の全5回  
午前10時～11時30分  
ところ 清洲市民センター  
3階 視聴覚室

内容 清須市とスペインのヘレス市は姉妹都市提携を結んでいます。スペインについて、もっと知っていたらいいことを目的として講座を開催します。  
スペイン語の基本とスペインに旅行したときに役立つ表現を学ぶとともに、スペインの社会や文化についても案内します。  
講師 市国際交流員  
エリザベス・ヘア・サストレ氏

## 歌声ひろば

とき 8月22日(木)・29日(木)・9月5日(木)の全3回  
午後1時～2時  
ところ 清洲市民センター  
2階 集会室

内容 うれしい時も悲しい時も、いつも私たちの傍ら

に流れていた懐かしいフォークソング・民謡・唱歌：。さあ、いっしょに歌いましょう♪  
講師 愛知県立大学・名古屋学芸大学他非常勤講師・音楽療法士  
酒井伸代氏  
名古屋音楽学校講師  
森崎一子氏

定員 若干名  
受講料 3000円  
持ち物 筆記用具

## 文芸講座「万葉集」の魅力

とき 9月4日(水)・5日(木)・6日(金)の全3回  
午前10時30分～正午  
ところ 清洲市民センター  
3階 視聴覚室

内容 「挽歌」は万葉集特有の部類名であり、そこにはさまざまな人の死を悼む歌が収められています。その中で妻を喪った悲しみを歌う「亡妻挽歌」は、柿本人麻呂から山上憶良、大伴旅人、大伴家持と引き継がれていきます。講座では「亡妻挽歌」を取り上げ、引き継がれてゆく流れとその変化を追いかけてみます。  
講師 専修大学文学部教授  
大浦誠士氏

定員 若干名  
受講料 3000円  
持ち物 筆記用具

## 高齢者のための教室・講座

★申込は各センターへお願いいたします。  
★各センターとも60歳以上の方が対象です。

西枇杷島福祉センター  
052-2502-7530

## 生活実用講座

「ぶくぶくの置き物」を作ります。



とき 7月11日(木)  
午前9時30分から  
ところ 西枇杷島福祉センター  
定員 30名  
持ち物 針・糸・はさみ  
材料費 3000円  
申込 7月5日(金)午前9時から

## 映画を楽しもう

主 演 名 「最高の人生の見つけ方」  
ジャック・ニコルソン  
モーガン・フリーマン  
とき 7月16日(火)  
午前9時30分～11時10分  
ところ 西枇杷島福祉センター  
参加費 無料 ※申込不要

西枇杷島生きがいセンター  
(にしび創造センター2階)  
052-2504-6361

## おしゃべり横丁

主 演 名 冨ヘラン・ラフソディ  
ラミ・マレック  
ルーシー・ポイントン  
とき 7月12日(金)  
午前9時30分～11時45分  
ところ にしび創造センター  
3階 視聴覚室  
参加費 無料 ※申込不要

## わくわく教室

「にぎにぎカエル」を作ります。



とき 7月19日(金)  
午前9時30分から  
ところ にしび創造センター  
2階 集会室  
定員 20名  
持ち物 針・糸・はさみ  
材料費 2000円  
申込 7月5日(金)午前9時から

所在地 電話番号	清洲市民センター	清洲弁天96番地1	052-409-6471
	春日公民館	春日東出8番地2	052-400-2700

西枇杷島福祉センター	西枇杷島町大野37番地1	052-502-7530
にしび創造センター	西枇杷島町小田井一丁目12番地1	052-504-6361

# 青少年の健全育成に努めよう

～心のふれあう温かい家庭づくりをめざして～

もうすぐ夏休みです。休みの開放感などから生活が乱れたり、有害な環境に接する機会が増えたりと子どもの非行の芽が育ちやすい時期です。愛知県では7月1日(月)～8月31日(土)を「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(夏季)」強化期間と定め、「非行の芽・はやめにつもう・みな我が子」をスローガンに、青少年の健全な育成を図るための運動を展開します。市においても、その運動の一環として、次のとおり「青少年健全育成大会」を開催します。

## 清須市青少年健全育成大会

と き 7月10日(水) 午後1時から(講演は午後1時30分ごろから) ※申込不要

と ころ 清洲市民センター ホール

意見発表 「地域とともに子どもたちを見守り育むPTA活動」 星の宮小学校PTA会長

講 演 「誰も一人では生きられない」

講 師 矢野きよ実 氏

決 議 家庭教育推進連絡協議会委員

■問合せ 生涯学習課(南館1階) ☎052-400-2911

## 講師紹介 矢野きよ実 氏

名古屋市中区大須生まれ。15歳でファッションモデルとして芸能界デビュー。その後、テレビやラジオなど活躍の場を広げ、名古屋弁による軽快なトークが話題に。17歳から始めた書で表現する独自の世界観が注目を集める。書道家として霧花(しょうか)の雅号を持ち、これまで数多くの賞を受賞。現在は、医療・災害、教育現場、福祉など、さまざまな分野の講演において「生きること」「命の大切さ」を伝えている。

- 特定非営利活動法人 愛知万博記念災害・救急医療研究会理事
- 玄玄書作院常任理事 ●名古屋観光文化交流特命大使
- 横山美術館 広報大使
- ラグビーワールドカップ2019開催都市特別サポーター



## エリのCafé España～スペインカフェ～ エリのスペインカフェヘレス市の洞窟壁画



¡Hola! ¿Todo bien? こんにちは！元気ですか？今回のカフェは、ヘレス市の洞窟壁画について書きたいと思います。

洞窟壁画とは、人類最古の絵画として、約7万年前に洞窟や岩壁の壁面や天井部などに描かれた絵画の総称です。

ヘレス市内に所在する壁画は、後期旧石器時代(紀元前4万～3万年)に描かれたとされており、市内の7カ所で見学することができます。

クエバ デ ラ モティヤ [Cueva de la Motilla] (=モティヤ洞窟)はその1箇所、6キロメートル以上のトンネルで構成されていて、1990年に壁画が発見されました。馬や鹿、牛、魚などの動物の絵が、80メートルの坑道の壁に彫られ、赤と黒の色素で着色されています。幾何学模様も見つけれられたため、クエバ デ ラ モティヤ [Cueva de la Motilla] は、当時の人々にとって、精神的に大事な場所だと推測されています。現在は、スペイン重要文化遺産に登録されていますが、維持管理があまりされていないため、落書きや気候の影響で悪くなる恐れがあります。

ウン ベラノ デ ムセオ

ヘレス市の考古博物館は児童・生徒を対象とした [Un verano de museo] (「博物館の夏」) という行事を毎年夏に開催しています。この行事は、さまざまなワークショップがあり、その一つは洞窟壁画を自分で描くことです。この行事を通して、子どもたちは積極的にヘレス市の歴史を知ることができます。

皆さんは清須市の古代の歴史を知っていますか。



ヘレス市の洞窟壁画について学んでいる児童たち